

編 集 後 記

会員の皆様には益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。本年も皆様の日頃からのお力添えによりましてNo.46の京土会会報をお届けできますことに、幹事一同厚く御礼申し上げます。

地球系3専攻（社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻、都市環境工学専攻）が桂キャンパスに移転して早2年が経過し、また、既に総会・懇親会の同キャンパスでの2回の実施を経、すでに多くの会員の皆様には桂キャンパスにおいていただく機会がありました事と存じます。また、多くの会員の方が研究室配属後の学生時代を過ごされました、地球系3専攻の協力講座が多くあります宇治キャンパスでは、昨年度から5年計画で耐震工事が進んでいます。正面玄関からすぐの東棟は既に完成し、防災研究所の多くの研究室が新たに移転・入居しています。より多くの皆様に、両キャンパスに一度足をお運びいただければ幸いです。

本年度の会報では、大学での研究現状を会員の皆様に知っていただく企画として、引き続き「最新技術・最新研究の紹介」コーナーを設けております。また、本年度も多くの会委員の皆様から会報作成にあたりまして原稿をお寄せいただきました。加えて表紙の絵は、毎号会員の方の作品限定で掲載させていただいており、会報の歴史を感じております。

さて、京土会では、会員皆様のご協力を得て就職・社会の情報を提供いただくなどの学生へのサポート強化、OB会員と学生会員と交流促進や、京土会の存在を早くから認識してもらうための若手会員という大学院生へのカテゴリーの創設、あるいは名簿の電子化、各学年同窓会の開催予定を掲載するなどの京土会HPの充実、メールマガジン「京土会通信」の配信開始等、国内外会委員に向けた一層の情報提供に努めているところで

伝統ある京都大学土木会が引き続き発展できますよう、会員の皆様の益々のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。

最後に、皆様の益々のご健勝、ご発展を心より祈念申し上げます。

平成20年度 幹 事

中北 英一、角 哲也